

笑顔かがやく 希望のまち むつ



むつ市総合経営計画 5つの基本方針

## 5 魅力の向上

### 【下北ジオパーク】

平成 30 年 4 月 12 日、下北ジオパーク推進計画を策定し、運営体制の強化を図っています。ジオパークの詳しい魅力については、巻頭特集（P 3～8）をご覧ください。



下北ジオパーク認定（平成 28 年 9 月 9 日）



上空から望む脇野沢鯛島



釜臥山から見下ろす芦崎湾



ちぎり浜



大畑薬研森林軌道



川内川渓谷

それは、  
悠久のときを経た  
「ここにしかないもの」

感動的に野山を染め上げる草花。哀愁漂う川の音。生命の源である広大な海。それらは全てむつ市の宝物。

# 魅力の向上

下北ジオパークや特産品などの地域資源の魅力を磨き上げるとともに、積極的なシティプロモーションを展開することで、常に選ばれる魅力のあるまちを目指し、国内外からの交流人口と滞在人口の拡大など「稼げる地域」への成長を推進します。



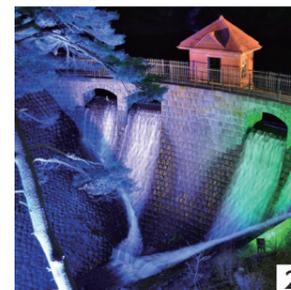
ひかりのアゲハがはばたく夜景

## 魅力あふれる まちを目指して

ふとした瞬間、さまざまな顔を見せるむつ市。海と山に囲まれ、春夏秋冬それぞれに特色あるこのまちの魅力に磨きをかけ、情報発信をしていきます。



1



2



3



4



5

1 ジオガイドの活動 2 ライトアップされた水源池公園アーチ式ダム 3 海洋地球研究船みらい 4 姉妹都市アメリカポートエンジェルズ市訪問団との交流 5 陸奥湾産ホタテ



笑顔かがやく 希望のまち むつ  
  
 むつ市総合経営計画 5つの基本方針  
 5 魅力の向上

まちと自然が調和し、  
 心ひかれる地域の実現に向けて



### 【イルカウォッチング】

観光遊覧船「夢の平成号」を活用した観光地づくりをおこなっています。毎年5月から6月頃までは、イルカウォッチングコースを設定しており、カマイルカの群れを見ることができる新たな観光スポットとして発信し、地域の活性化に繋がっています。



### 【花咲か大作戦】

野鳥が食べきれないほどの桜の花芽を実らせるため「桜満開プロジェクト」を立ち上げ、地域住民と共に、桜の木へ肥料を与える活動をおこなっています。



### 【芦崎湾での潮干狩り】

毎年春の風物詩となっている、芦崎湾の潮干狩り。実際に見て、触れて、味わえるむつ市の一大イベントとなっています。



### 【海峡サーモン祭り】

むつ市が誇る海峡サーモン。海峡サーモンとはドナルドソンニジマスの幼魚を大畑町漁港沖合のいけすで成長させたものです。海峡サーモン祭りは、毎年6月に大畑町漁港魚市場で開催され、サーモンの販売の他に、サーモンたもすくいやサーモンレースなどが楽しめる体験型イベントとなっています。



人を魅了し、  
 輝きのあるまちへの飛翔

### ■ ジオパーク

平成28年9月9日に、下北ジオパークが日本ジオパークネットワークに加盟認定され、国内外から注目を集めています。地域住民に愛されるジオパークとしていくため、郷土愛の醸成と地域間の交流を図ることを目的として、毎年学習活動発表会を開催しています。また、ガイド団体等が主体的にジオツアーを企画・開催できるよう支援し、選ばれる観光コンテンツとなることを目指します。

### ■ 観光・物産

広域周遊型観光の形成を図るため、魅力溢れる広域周遊ルートを整備するとともに、効果的な情報発信、外国人も含めた観光客受け入れ体制の充実、利便性の高い二次交通等も整備を図ります。また、地域資源の高付加価値化と戦略的かつ効果的なプロモーションにより、地域ブランド力の向上を図り、小規模でも安定した販路を開拓します。併せて、地産地消を積極的に推進するとともに、「地産外商」の推進とふるさと納税制度を活用し、市産品の消費拡大を図ります。

### ■ 景観

釜臥山から望む下北の雄大な自然と人々の暮らす都市が織りなすその姿は、夜になると「光のアゲハチョウ」として輝きを放ちます。この夜景景観の輝きを次世代へ繋いでいくためにも、活気にあふれ、愛着が感じられるまちづくりとして景観形成を進めていきます。令和2年には「夜景サミット&全国名月サミット2020in むつ」の開催が決定するなど、新たな取り組みが進められています。



アゲハの夜景と花火

### ■ 国際・都市間交流

国内外の姉妹都市や姉妹校をはじめとする各地域との盟約及び提携等により、教育・文化・科学・経済など様々な交流に取り組み、親善及び友好形成に努めています。また、グローバル化の進展に対応するため、国際感覚の養成にも努め、市民レベルでの交流を推進します。

### ■ 海洋科学研究拠点

海洋地球研究船「みらい」は、むつ市の関根浜港を母港として地球温暖化などの環境変動を解明・予測するため、世界の海洋を舞台に活躍しています。また、「みらい」の運航や研究をサポートする海洋研究開発機構むつ研究所をはじめ、海洋研究等に関する幅広い分野での研究拠点が整備されています。研究機関の集積を活かして関連産業の誘致を目指し、研究機関による研究成果を新たな産業の創出に繋がっています。



むつ市のうまいを世界のうまいへ。海外販路開拓へチャレンジ（平成30年シンガポール）



ホテル・レストラン向け商談会（平成30年ホテルグランヴィア大阪）